

8

16

(金)

教育フォーラム

17:00 ▶ 19:30

子どもと教育について、憲法と子どもの権利条約の視点を大切にしながら、保護者や地域住民、教職員、教育関係者がともに語り合ひましょう。

NO.	フォーラム名	何を話し合いたいのか
1	子どもの権利、いのちを大切に 家庭、地域、学校	<ul style="list-style-type: none"> ●生きづらさをかかえた子ども・親の姿から学ぼう ー不登校・「非行」・いじめ・虐待…… ●子どもの権利を守り、いかすとりくみをつくろう
2	子どもをまん中にした 学校づくり・地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちにとっての学校、地域にとっての学校について考えよう ●学校の統合問題と子ども・地域とのかわりについて考えよう ●家庭・学校・地域の共同を広げる学校づくり、地域づくりのとりくみを交流しよう
3	すべての子どもに楽しく ゆたかな学びを ～「Society5.0に向けた人材育成」などに 立ち向かい、本当の学力を考えよう～	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの願いにこたえ、「学ぶって楽しい」を広げよう ●新学習指導要領や「学び」が子どもたちにどんな困難をもたらしているのか、あきらかにしよう ●大企業の参入と「ICT環境」化、高校の2つの新テストが、学校と子どもの学びをどう変えようとしているのか、話し合おう
4	「インクルーシブ教育」 を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ●「どの子ども教育から排除されない」ために、私たちがとりくむことは何か、考えよう ●障害のある子どもも、育ち合い、学び合える教育と地域を実現するために必要なことを話し合おう ●「育ち合い、学び合える教育と地域」について、通常学校での実践、特別支援学校・学校での実践、それぞれから学び合おう
5	3.11から8年半 本当の復興とは？ ～今 私たちに求められているもの～	<ul style="list-style-type: none"> ●3.11を経験した子どもたちの声や思いに耳を傾けよう ●原発事故から8年半、フクシマを通して原発問題を考えよう ●“本当の復興”のために、私たちに求められていることは何かを考えよう
6	やっぱり 「せんせい ふやそう」	<ul style="list-style-type: none"> ●文科省「学校における働き方改革」って？！ 私たちの働く働き方改革を考えよう ●職場・地域で長時間過密労働を解消するためのとりくみを交流しよう ●子どもたちが望む学校、「せんせい」の姿とは何か、語り合おう
7	いま、学校ってどうなん？ ～みんなで考えよう 子どもの豊かな成長を～	<ul style="list-style-type: none"> ●日頃感じている学校への疑問や悩みを率直に語り合おう ●保護者の学校によせる思い、学童保育指導員からみた学校の姿、先生の日頃の苦労と努力、それぞれの立場からの声に耳を傾けよう ●子どもの豊かな成長のために真に必要なものをみんなで考えよう

すべてのフォーラムで、「憲法と子どもの権利条約の視点で子どもと教育を語ろう」という視点で話し合いをすすめます。

教育のつどい事務局：東京都千代田区二番町 12-1 全国教育文化会館内

TEL. (03) 5211-0123 / FAX. (03) 5211-0124 E-mail: tsudoi@educas.jp

現地実行委員会：滋賀県大津市朝日が丘 1-11-3 滋賀県教育文化会館内 TEL. (077) 522-4965

みんなで21世紀の未来をひらく

2019 教育のつどい

教育研究全国集会 2019 in 滋賀 8月16日(金)・17日(土)・18日(日)



▲滋賀県教育研究センターが主催する「教育のつどい」の作品より

8

16

(金)

開会全体集会 13:00 ▶ 15:30

場所 滋賀県栗東市
栗東芸術文化会館さくら

シンポジウム

「子どもの命を守ることー子どもの人権・人間の尊厳ー」



シンポジスト

増山 均さん(早稲田大学)

轟基 祐正さん(名古屋立大、元スクールソーシャルワーカー)

現説

子どもの権利に正面から向き合った「社会福祉の父」赤貫一雄の遺稿の地・滋賀県。この地で高校生たちが「子どもの思いを受けとめて」と、書道や演劇で訴えかけます。

8

16

(金)

教育フォーラム

17:00 ▶ 19:30

(7つのフォーラム・大津市ほか)

8

17

(土)

18

(日)

分科会 (草津市ほか)

子育てのこと、学校のこと、
みんなで話し合いませんか？ 「教育のつどい」は、全国から子育てや教育にかかわる人々が
集まって開催される、だれでも参加できるつどいです。

●資料代：1,000円 ●開会全体集会には学費減額があります。 ●1歳以上のお子さんを保育します。保育のお申し込みは7月26日までに事務局へ

※会場へは徒歩で、公共交通機関でのアクセスも可能。

主催：「みんなで21世紀の未来をひらく教育のつどいー教育研究全国集会 2019」実行委員会

2019 教育のつどい 分科会

8 17 (土) 10:00 ▶ 17:30

8 18 (日) 9:30 ▶ 16:00

1 国語教育
学力テストの問題が解け、実用的な情報処理能力が国語の学力であるという気分の醸成が広がっています。改めて、国語科は何をする教科なのかみなさんと考えたいと思います。

2 外国語教育
いま英語教育は「グローバル人材」養成の道具とされています。すべての子どもたちに、平和な世界を創造する力を保障する外国語教育の実践を交流しましょう。

3 社会科教育
改訂学習指導要領で社会科教育の学習量が大きく増え、めざすようとしていきます。今こそ、全国の実践をもとに批判的に検討しましょう。

4 数学教育
子どもたちにとって本当に必要な「数学の学び」とは何か？生活につながる数学とは何か？子どもたちと創る授業実践をもとにみんなで話し合います。

5 理科教育
改訂学習指導要領を視野に入れ、子ども・青年の自然・モノ離れを克服し、科学的根拠に支えられた本質的学びを育てる理科教育のあり方を探りましょう。

6 美術教育
子どもたちの表現に寄り添い、実践を読みひらき、表現者を育てる美術教育をみんなで考えます。日々の実践を持ち寄り、全国の仲間と交流しましょう。

7 音楽教育
音楽の授業は、教材を前に子どもと教師が心を通わせ共に育つ場です。一人ひとりの想いや表現を受けとめ、喜びあふれる授業をめざして学び合います。

8 書写・書教育
「書で人間丸ごと育てる」という壮大な書教育の目標に沿っての実践が展開されています。会場に訪ふ子どもたちの生き生きとした作品を通して話し合います。

9 技術・職業教育
小・中・高それぞれの実践報告から職業教育の広がりを感じ、子どもたちの成長を見届けた教育活動を実感し、さらに内容を高める分科会としていきます。

10 家庭科教育
子どもたちが、ありのままの生活を見つめ、考え、いのちと暮らしを守るためにどうしたらよいかを考え合います。学習を社会とつなげ、主権者として生活できる学びを探っていきます。

11 体育・健康・食教育
子どもの健康と生活習慣を養育するからだとこころの育ちの実態をふまえ、すべての子どもの発達を保障する体育の授業、健康教育（学校保健）、給食と食教育のとり組みについて、実践報告をもとに討論をおこないます。

12 生活指導・自治的活動
さまざまな課題を抱えた子どもたちに、教師としてどう向き合うか、それを育てるために大切にすべき発達課題や評価について、学び考え合います。

13 発達・評価・学力問題
教室の子ども姿を通して、学力あるいは学力の基礎とは何であり、それを育てるために大切にすべき発達の課題や評価について、学び考え合います。

14 障害児教育
「発達・学習権保障の道を強くすすもう！」をテーマに、全国から44本のレポート報告・討論をもとに、子どもから出される障害児教育について深めます。

15 幼年教育と保育
子どもも大人も主体的な保育・教育をすすめるために大切なことは... 幼児・小学校低学年の姿、保護者・職場の運動から考えていきましょう。

16 思春期・青年期の進路と教育
子ども・青年は多くの課題と困難を抱えています。その現状や入試制度、授業実践、定時制・通信制、支援のあり方等、さまざまな観点から学び合います。

17 ジェンダー平等と教育
ジェンダー平等の教育は、すべてのひとの権利を保障し、個々の多様な幸せの実現につながります。共に関心を育み、語り合い、学び合います。

18 子どもの人権と学校・地域・家庭
子どもをめぐる状況や教育実践、子ども理解について互いに出し合い、考え合います。また、子どもの学習権や人権を取りもどすための議論を深めます。

19 平和と国際連帯の教育
平和と民主主義をふみにじる安倍政権は、憲法「改正」を政治日程にあげています。平和な社会の実現のために、この分科会で学び合います。

**20 学校づくりへの子どもの参加、
父母・教職員・地域の共同**
学校づくりは子どもの現実世界としっかり向き合う地域と学校共同の営みです。全国から寄せられるしたたかでのしやかな実践を交流し学び合います。

21 教育条件確立の運動
教職員の長時間勤務と労働安全衛生、就学援助・奨学金・私学助成など子どもの貧困と修学保障、教育費無償や教育条件をよくする運動の進め方をともに考えましょう。

特設1 「道徳教育」のあり方を考える
道徳科が全国実施になりました。現場で起きていること、明らかになった課題点、それらを乗り越える「私たちの街からの実践」を交流し、明日からの見通しを持ちましょう。

特設3 「子育てと教育」cafe (18日のみ)
～ママパパ教職員の仕事と今の教育～
家庭と仕事の両立はフガママなのか!? もがきながら道を模索する子育て教職員の生の声を届けます。また今の教育の現状を、子どもの成長に関わる様々な立場の人の視点で、会場のみなさんと語り合います。

22 環境・公害問題と教育
教師の市民活動が日常的教育活動になぜつながらないのか。環境・公害教育の視点から学校と社会の現状を問い直しましょう。

23 文化活動・図書館
子どもたちの生活の充実と健やかや成長を、学校や地域での活動を通して考えます。豊かな文化活動・図書館活動の実践・報告をもとに語り合います。

24 教育課程・教科書
小学校教科書採択の年です。教科書は子どもにとって学びやすいのか、教科書学習を深めることができるのか、子どもの学びから教育課程・教科書を考えます。

25 登校拒否・不登校
登校拒否・不登校数はますます増え続けています。「教育機会確保法」の見直しを踏まえ、登校拒否・不登校をめぐる教育実践・教育運動のあり方を考えます。

26 国民のための大学づくり 一大学教育と高大接続
大学改革・新テスト導入など高大接続改革により、高校側・大学側双方がどのような影響を受けるか問題点と実践の課題について話し合います。

27 生活科・総合学習
子どもたちと地域の自然・人・歴史文化にかかわり、豊かに学んだ各地からの実践報告や、特別講演「生活科・総合学習40年」から共に学び合います。

28 今日の教育改革—その焦点と課題
安倍「教育再生」による歪みが、地域や学校でさまざまな形で現れています。それに抗する各地の運動や実践をもとに、展望を語り合います。

**特設2 日本語指導が必要な
児童・生徒と学校教育** (17日のみ)
日本語を母語としない子どもたちが、十分なサポートがないままに学校に通っています。どうすればいいのか、当事者の思いを聞き、各地のとり組みを交流します。

